

平成22年度経営計画

1. 経営方針

(1) 業務環境

1) 兵庫県の景気動向

兵庫県下の景気は、平成20年秋のリーマン・ショック以降、急激かつ大幅に悪化しましたが、平成21年度に入り生産の回復を背景に下げ止まり、さらに年度後半以降は輸出が低水準ながら持ち直すなど回復の動きが表れました。しかしながら、厳しい雇用環境や所得状況を背景に個人消費が総じて弱い動きとなっていることや、厳しい企業収益を背景に設備投資が減少していることなどから、依然として厳しい状況が続いています。今後も持ち直しの傾向は維持される見込みではありますが、雇用情勢の低迷やデフレの進行、国際的な金融の動向等、景気の下振れリスクについては、引き続き注視していく必要があります。

2) 中小企業を取り巻く環境

生産の回復や輸出の持ち直しを背景に、中小企業の業況は一部で改善の動きが見られるものの、依然として低水準で推移しており、当協会のパートナーである中小企業者の大半は、長引く不況による厳しい環境下で苦しい経営を余儀なくされています。平成22年度についても、個人消費の低迷や設備投資の減少等、明るい材料に乏しく、引き続き厳しい環境が続くと見込まれます。

(2) 業務運営方針

このような状況のもと、当協会は、公共性と社会的責任を十二分に認識した中で、金融機関や各関係機関と連携しながら、厳しい経済情勢下にある県内中小企業者に対する金融の円滑化を実現し、事業の維持・創造・発展に努力する中小企業者を全力でバックアップするとともに、中小企業者のベストパートナーとして地域社会から信頼される保証協会の確立を目指し、信用補完制度の維持・発展に寄与してまいります。

- 1) 長引く不況により厳しい経営環境下にある中小企業者に対して、より一層親切・丁寧な対応を心掛け、「景気対応緊急保証」等によりその資金ニーズに迅速・的確に対応します。
- 2) 「流動資産担保融資保証」等各種政策保証を活用し、多様化する資金ニーズに適切に対応します。
- 3) 資金繰りが厳しく経営支援が必要な中小企業者に対して、金融機関と連携し、中小企業金融円滑化法の趣旨を踏まえた返済緩和等の条件変更により弾力的に対応します。また、再生支援が必要な中小企業者に対しては、中小企業再生支援協議会等と連携を深め、効果的な支援を目指します。
- 4) 求償権回収については、目標管理の徹底や保証協会サービサーの活用等により、回収の最大化・効率化を目指します。
- 5) コンプライアンスについては、引き続き研修や会議等を通じて役職員の意識向上・情報共有を図り、コンプライアンスマインドの一層の浸透を目指します。
- 6) コンピュータシステムの効率性の向上及びバックアップシステム等による安全性・信頼性の確保を図るため、コンピュータ共同システムへの移行を進めます。
- 7) 各種研修等への積極的な参加等を通じスキルアップの支援を行い、人材の育成を図ります。

2. 重点課題

【保証部門】

- (1) 政策保証の推進
- (2) 適正保証の推進
- (3) 保証利用度の向上

【期中管理部門】

- (1) 経営支援・再生支援への取組み強化
- (2) 適切な事故報告の処理

【回収部門】

- (1) 目標管理の徹底
- (2) 効率的・効果的な回収の推進

【その他間接部門】

- (1) コンプライアンスに関する取組み
- (2) 経営の合理化・効率化の推進
- (3) コンピュータシステムの機能向上に向けての取組み
- (4) 人材の育成
- (5) 広報活動の充実
- (6) 産学連携協力の推進

3. 主要業務数値の計画

平成22年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです

項 目	金 額	前年度計画比
保 証 承 諾	6, 0 0 0 億円	1 0 0 . 0 %
保証債務残高	1 兆 4, 5 0 0 億円	9 6 . 7 %
代 位 弁 済	5 9 6 億円	1 0 0 . 0 %
回 収	1 0 5 億円	9 6 . 3 %